

# 図書便り

情報コーナーでは、男女共同参画に関する約1,600冊の図書の貸出しを行っていますぜひご利用ください！



## 「性」について、どんどん知る！

11月28日

「誰もが暮らしやすい社会の実現に向けて」  
講座講師の著書

### ふたりのママから、きみたちへ



東 小雪・増原裕子/著  
イースト・プレス/刊

東京ディズニーリゾート初の同性結婚式を挙げた著者たちから、お互いに、いつかふたりが迎えるであろう我が子に、悩める若者たちに向けてのメッセージ。誰を好きになる？ 好きになるとはどういうこと？ ふつうの家族って？…セクシュアリティに関わらず誰もが一度は抱える疑問に対する著者たちの思いが、平易な言葉で綴られている。

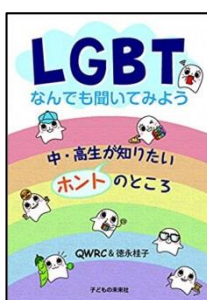
### ありのままの自分で働ける環境を目指して 職場のLGBT読本



柳沢正和・村木真紀・後藤純一/著  
実務教育出版/刊

前書きに「一人でも多くの人が、LGBTであることを隠さず、ストレスなく働ける、そんな時代になることを願い」とある。その実現はセクシュアルマイノリティと括られる人たちだけでなくすべての人にとって心地よい社会。だからこそ、この本が伝えている現状、課題、整備、先進的な取り組みについて知り、考え、変わることが求められる。

### LGBTなんでも聞いてみよう 中・高生が知りたいホントのところ



QWRC&徳永桂子/共著  
子どもの未来社/刊

中高生から実際に出た質問に答えるQ&A方式で当事者はもちろん周りの人の理解に役立つ。コラムで基礎知識も身につけ、相談先一覧も掲載。8人のメンバーが「性の多様性」を中心において、みんなで一緒に具体的に「性」について考えていけたらいいなと思って作ったとのこと。むかしむかしに中高生だった大人たちも必読すべし。

## 新着図書紹介

直木賞作家・姫野カオルコ  
2018年7月発行の話題作

### 彼女は頭が悪いから



姫野カオルコ/著  
文藝春秋/刊

2016年に起きた男子東大生たちの強制わいせつ事件がベースのフィクション。淡々と綴られる若者たちの生活や価値観…その文章の淡白さこそが現代を物語るかのよう。「この物語にはミラー効果が生じる」と著者。自分がどの場面の誰に鏡を見たか内観するとみつかるともかもしれない。それは痛みをともなうことかもしれないけれど。



# もっと親子で話そう！思春期の「性」

12月14日の講座「家庭で話す思春期の性」に参加してみんなで考えましょう！

## ハタチまでに知っておきたい性のこと 第2版

橋本紀子・田代美江子・関口久志/編著  
大月書店/刊

世界と日本の「性」と性教育の現状から始まり、大学生に必要な性をめぐる知識とスキル（からだの構造・仕組みや避妊の方法、妊娠・中絶、性感染症への対処方法）を伝える。また、社会におけるジェンダー・セクシュアリティとして性の多様性やデートDV、性暴力、性の商品化、HIV/AIDSなど、若者に知っておいてほしいことを取り上げている。

## からだの気持ちをきいてみよう

大橋由香子/著  
ユック舎/刊

人はみんな自分の中に自分を守るための力を持っている。自分のからだを守るということは、自分を愛して大事にすること。からだのどこかに不調を感じる時、考えすぎていたり疲れすぎていたりすることがよくある。「からだの気持ちをきいてみる」何かを知らせるサインかも…。不調だけでなく、からだの気持ちよさを追求する時にも活用したい本。

## ジェンダーフリー・性教育バッシング

浅井春夫・北村邦夫・橋本紀子・村瀬幸浩/著  
大月書店/刊

2000年頃から始まったジェンダーフリー・性教育バッシングについて経過を追いながらそのねらいと背景を読み解く。また、実践の内容やこれからの方向性についてQ&A方式で簡潔にまとめている。これからの両性の平等の取り組みと効果的かつ包括的な性教育実践をつくりあげていくための必読書。

## 子どもと性 必読25問 タジタジ親にならないために

村瀬幸浩/著  
子どもの未来社/刊

「赤ちゃんはどこから生まれるの？」って聞かれたら？ おふろにいっしょに入るのはいつまで？ 息子の部屋でエッチな本を見つけた！ 娘に彼氏ができて心配...こんな時、あんな時、タジタジしないためにしっかり予習しておくための本。「性=生」であり「健康に生きる」という視点を持てばお互い安心して話すことができる。

### 情報コーナーの利用について

貸出：1人2冊まで、2週間（延長可）

対象：長岡京市在住・在勤・在学の人

※図書の貸出しには

「情報利用者カード」の登録が必要です。

カードの登録には、運転免許証など、本人確認が出来るものをお持ちください。

紹介した本は情報コーナーで貸出しています。  
他にも同ジャンルの本や新着図書が  
たくさんあります。職員におたずねください。

◇ 編集・発行 ◇

長岡京市女性交流支援センター  
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.lg.jp

開館時間：午前9時～午後5時（日・祝を除く）